まちのわだい

八代駅前には、鹿児島県の島津太鼓（上）が、日奈久温泉駅では、ハープとバイオリンの演奏が披露（右）され、詰めかけた観客を魅了

▲新八代駅前には、八代や天草、人吉・球磨の名産が集結

新幹線つばめと一緒に記念撮影

祝 開業1周年！九州新幹線・肥薩おれんじ鉄道

開業1周年記念イベント開催

3月12日～13日に、新八代駅や八代駅、日奈久温泉駅で行われた記念イベントでは、物産展やステージなどがあり、約13,000人の人出でにぎわいました。

100歳おめでとうございます

後藤シマヨさん

2月28日、後藤シマヨさん（迎町）が100歳の誕生日を迎えました。シマヨさんは、現在グループホーム「ま心苑」に入所しています。

この日、家族や施設の職員からお祝いの言葉とともにケーキや花束を受けると「みんなと一緒に居たいから、まだまだ長生きしたい」と感謝していました。

走りぬいて、春を呼ぶ。

第20回八代ひなまつり女子駅伝大会

3月6日、球磨川河川敷スポーツ公園で、第20回八代ひなまつり女子駅伝大会があり、約1,100人の参加者が健脚を競いました。競技は5区間のリレー形式で行われ、上位入賞をねらうチームや仮装をしパフォーマンスで観客を楽しませるチームなど、それぞれの目標に向けての快走で、会場を盛り上げました。

小学生の部で、パンダのかぶり物をして参加した植柳小の小島彩華里さんは、「ゴール直前、とってもきつかった時、観客から『パンダがんばれ！』と応援してもらい、とっても嬉しかった。小学生、最後の良い思い出になった」と話しました。

川に転落した釣り人を救助

消防活動等一般協力者表彰

◀ 人命救助の表彰を受けた伊藤忠義さん（左）と岩尾良一さん

2月17日の午前10時ごろに発生した、水島町の球磨川左岸での水難事故に際し、適切で積極的な人命救助活動を行ったとして、岩尾良一さん（大村町）と伊藤忠義さん（郡築十番町）が3月2日、八代広域行政事務組合代表理事の中島市長と本田榮一消防長から表彰を受けました。

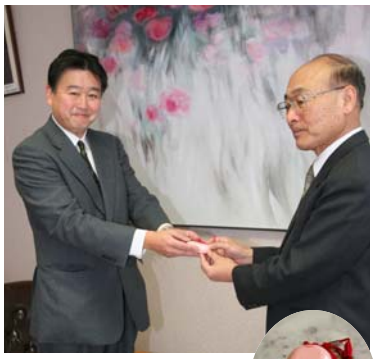
事故は、市内に住む男性が、球磨川河口付近で釣りをしていたとき、石垣の上でバランスを崩して転倒。頭部を強打し、意識を失って流されようとしているところを、通りかかった岩本さんと、近くで釣りをしていた伊藤さんが協力して男性を引き上げ、救助したものです。

未来を担う子どもたちを守りたい
新1年生に防犯ブザー進呈

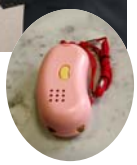
3月16日、子どもたちが犯罪に巻き込まれないように役立てて欲しいと、(株)キューネット（西川尚希社長）から新1年生に対し、携帯用防犯ブザー1,030個が贈られました。

防犯ブザーの贈呈に訪れた同社の平林将人営業部長は、「ブザーを持っただけでは完全な防犯にはなりません。保護者をはじめ、地域の大人たちがこのブザーの音を聞いたらすぐに駆けつけるような体制ができてはじめて、その効果は大きくなります。そのために大人はブザーの音に敏感になってもらいたい」と話しました。

防犯ブザーは、本年度以降毎年、新小学1年生に贈られる予定です。



▲藤門教育長に防犯ブザーを手渡す平林営業部長(左)



贈呈されたに防犯ブザー▲

音楽にのって被災地を救おう
BAND AIDチャリティーコンサート

3月4日、やつしろハーモニーホールで新潟県中越地震復興支援コンサートが開催されました。これは、被災地の復興を手助けしたいと、GATE21実行委員会の企画に賛同した5組のミュージシャンが参加して行われたものです。

▲熱唱する上田正樹さん

沖縄民謡の仲田まさえさんやアメリカから参加のバンド「スケール」、八代に縁のあるミュージシャンによる演奏の後、ブルース界のカリスマといわれる上田正樹さんが登場。「被災者のために何かしないといけない、と思っていたときにこの話がきた。復興の一助になれば嬉しい」と話し、ステージではジョン・レノンの曲に、即興で日本語の歌詞を付けた歌などを披露し、約400人の観客を魅了していました。

この日集められた義援金208,770円は、新潟県災害対策本部に送金されます。

▲宮田さん(左)の指導を受け、紙を漉く参加者

日本の文化、紙漉き体験
ユネスコ文化財を見る会

3月12日、県内在住の留学生や外国語指導助手たちが、熊本県内の文化に触れようと、八代市内の文化財見学や紙漉(す)きを体験しました。これは、熊本県ユネスコ協会が主催したもので、8カ国からの留学生を含む47人が参加しました。

一行は、博物館や松濱軒など見学のあと、宮地町の宮田手漉き和紙工房で和紙のハガキを作りました。春先とはいえ、冷たい水の中で紙を漉く作業に少し戸惑う姿も見られましたが、手を真っ赤にしながらも、熱心に宮田さんの指導を受けていました。

参加者の李沛然(りぺんらい)さんに感想を聞くと、流暢(りゅうちょう)な日本語で「とても楽しかった。和紙のハガキは思ったより上手にでき満足です。いい記念になりました」と、とても喜んでいました。

八代のお雛祭りを満喫
第21回障害列車ひまわり号八代訪問

3月13日、熊本市周辺の障害者とその家族やボランティアが一緒になって、日帰り列車の旅を体験する「障害列車ひまわり号」が八代市を訪れ、市内各所で行われている「城下町やつしろのひな祭り」などを楽しみました。「障害列車ひまわり号」が、八代を訪問するのは2回目。今回は、約200人が参加しました。

参加者は、「アーケードのいたるところに、古いものや手作りのひな人形が飾られ、とても華やかな雰囲気がいい」などと話し、街の散策を楽しんでいました。

▲アーケードでのお茶のおもてなしに、ひと息つくひまわり苑のみなさん

市のホームページ（http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/）では、広報やつしろがカラーでご覧になれます。